

氏名：島村 勇基

派遣元：埼玉県 さいたま市

派遣期間：H28.4.1～H28.9.30

所属：地方・訓練担当

今回、地方訓練室で研修させていただきました、改めて訓練の重要性について学ぶことができました。

市では毎年、訓練は実施していますが、実災害に対応できるか疑問があります。また、全庁的に実災害に備えた訓練ができていないので、少しずつでも変えていければと思いました。

また、訓練を通じて、民間企業や住民を巻き込み、平時から顔の見える関係を作ることが大切だと学ぶことができました。

市に戻っても、地方訓練室で学んだことを生かして頑張っていきたいと思います。また、自分の住んでいる地域以外で災害が起きたら、積極的に災害現場に行き、被災者のために仕事をしたいと思っています。

氏名：三原 宜輝

派遣元：神奈川県 川崎市

派遣期間：H28.4.1～H28.7.31

所属：地方・訓練担当

研修開始から2週間後に熊本地震が発生し、発災4日後に研修生として最初に政府現地災害対策本部へ派遣され、物資調達・被災者支援・事案対処等に約20日間従事し、政府の災害対応を経験したことで、国・県・政令市の災害対応の関係性を検証する必要性も感じました。

研修期間は当初、3ヶ月間でしたが、殆どが熊本地震の対応であったため、1ヶ月間延長し、延長期間は大規模水害対処訓練等の各種訓練や会議に携わり、企画から実施、検証までのプロセスを習得しました。

今後は、災害対応の経験や身に付けた知識、そして人的関係を活かしながら、所属自治体にフィードバックし、来るべき災害に備えていきたいと思っています。

氏名：関塚 健太

派遣元：茨城県 境町

派遣期間：H28.7.1～H28.9.30

所属：地方・訓練担当

私は、今年度7月から茨城県境町より派遣され、訓練担当として大規模水害対処図上訓練や「防災の日」総合防災訓練を始めとした、様々な訓練に携わり、大変有意義な時間を過ごすことができました。

さらに、熊本現地対策本部や岩手現地連絡調整室で実際の災害対応にも携わることができました。国と県と市町村の連携を国側の視点から見ることができ、非常に貴重な経験をさせていただきました。

そして、なによりもOJT研修を通じて、たくさんの人と交流できたことは、一番の嬉しさでもあります。

こうしてOJT研修で経験した事や人的ネットワークは、これからも大切にしていき、境町の防災業務に役立てていこうと思います。

氏名：星 央巳

派遣元：新潟県 魚沼市

派遣期間：H28.10.1～H28.12.31

所属：地方・訓練担当

私は、新潟県魚沼市から派遣され、3か月研修生として研修に参加させていただきました。研修では主に緊急災害対策本部要員政府図上訓練の担当をさせていただき、業務を通じて発災後の国のタイムラインや日々の災害への備えの大切さを学びました。

また、南海トラフ地震を想定した訓練に参加させていただき、関係省庁や地方公共団体と連携した訓練が緊張感のあるなか、実災害さながらに行われ、このような訓練に携われたことは大変貴重な経験となりました。

今後は研修で得た知識と経験を魚沼市の防災業務に生かしていきたいと思っています。

氏 名：眞仁田 亜規夫

派遣元：埼玉県 坂戸市

派遣期間：H28.10.1～H28.12.31

所 属：地方・訓練担当

埼玉県坂戸市より行政実務研修員として、内閣府（防災）に勤務させていただき、非常に充実した3か月間となりました。

業務としては、地方・訓練担当として、訓練の事務を行いました。四国緊急災害現地対策本部運営訓練や和歌山緊急災害現地対策本部運営訓練では、南海トラフ地震発生を想定し、現地に政府の対策本部を設営する訓練ですが、災害時に何が必要となり、被災地から求められるかを真剣に考えることができました。また、実災害時にどのように政府が災害対応を行うかを目の当たりにし、非常に勉強になりました。

そして、何よりも、多くの方と交流を図れたことが一番の収穫となりました。

今後も、この交流をつないでいきたいと思います。

氏 名：尾形 裕之

派遣元：宮城県 石巻市

派遣期間：H28.10.1～H28.12.31

所 属：地方・訓練担当

私は、これまでの職務で防災業務に関わった経験がなく、当初は、慣れない単語も多く、勉強することが多くあり、皆さんに激励をいただきながら、なんとか研修を終えることができて感じています。

この研修をとおり、国の防災意識、災害に対する準備を目の当たりにし、自身の意識の低さを痛感いたしました。

ここでの経験、人脈を活かしていければと思います。

氏 名：白石 龍祐

派遣元：埼玉県 狭山市

派遣期間：H28.10.1～H28.12.31

所 属：事業推進担当

私は、事業推進担当として3ヶ月間本研修に参加しました。主に『大規模災害時における被災者の住まいの確保策に関する検討会』と『保険・共済による災害への備えの促進に関する検討会』に係る業務を担当させていただき、国として抱えている課題や現状を知るだけでなく、様々な意見に触れることができたのは、とても貴重な経験です。

また、和歌山での緊急災害現地災害対策本部にも参加し、災害発生時のオペレーションを確認できただけでなく、国と県が初めて行った合同会議訓練を経験することができ、大変勉強になりました。

研修によって広がった繋がりを大切に、学んだことを市の防災対策に活かしていきたいと思います。

氏 名：猪俣 直登

派遣元：神奈川県 平塚市

派遣期間：H29.1.1～H29.3.31

所 属：地方・訓練担当

私は、特に訓練に携わる中で、国が重点的に取り組んでいる防災施策を地域に還元し、それが国民の命を守ることに繋がるという視点を多方面で感じました。

私は、防災における最大の目標は、一人の犠牲者も出さないことだと考えています。そのための方法は数多くあり、地域の特色によって適合する方法が変わってくると思います。地域との関係性を一層大切にするとともに、内閣府の動向にもアンテナを向けていくことが、内閣府防災での業務を経験し、地方公共団体に戻って防災に携わる者が担うべき役割だと思うので、この貴重な経験から得たものや気づいたことを、平塚という地域に合う方法で貢献していけるよう努めていきます。

氏 名：猪瀬 啓介

派遣元：茨城県 常総市

派遣期間：H29.1.1～H29.3.31

所 属：地方・訓練担当

私は、平成27年関東・東北豪雨で水害を経験したが、国がどう動いているのか分からず、ほとんどのことは市で対応しなければいけないのかと思っていました。内閣府で政府の災害対策本部図上訓練や、研修を通じて、国が災害時にはどう動くのか、日常的にどう備えているのかが分かり、市には市の役割、国には国の役割があるということが分かりました。

災害時には自分の自治体だけでなく、国、県、民間団体など様々な機関が助けてくれることを知っておけば、災害時に自治体職員は抱え込まずに、関係機関に相談しながら業務が行えると思います。だからこそ、研修で言われていた、平常時からの顔の見える関係が必要だと感じました。

氏 名：鳥海 聡一

派遣元：神奈川県 二宮町

派遣期間：H29.1.1～H29.3.31

所 属：防災計画担当

私は、3か月仕事し、内閣府防災が各省庁、指定公共団体、都道府県、市町村職員で構成されており、多くの組織職員が協力して運営する組織であることを知りました。

また、防災計画担当として、主に防災住民協議会を担当し、モデル地区への訪問や各地で住民へ防災啓発を行っている団体と話をする機会に恵まれ、それぞれの活動を知り、また団体の方々とのつながりを持てるなど、とても有意義なものでした。災害時のスムーズな活動を支えるのは、普段から関係団体と顔の見える関係を持っている事が重要と研修中に教わりました。

この研修で学んだ知識だけでなく、人とのつながりも財産として、これからの業務に生かして参りたいと考えております。

氏 名：小泉 洋平

派遣元：茨城県 那珂市

派遣期間：H29.1.1～H29.3.31

所 属：事業推進担当

配属となった事業推進担当では、主に「保険・共済の加入による災害への備えの促進に関する検討会」を担当しました。会議に向けた資料作成や、委員との調整等が主な業務であり、市役所とはまったく違う時間や業務の流れに最初は戸惑いもありましたが、内閣府そして関係省庁の役割と連携を目の当たりにし、国の防災体系というものを感じることができました。

その他にも、有明の丘研修や関係省庁講義、防災施設視察などを通じ、ぜひ市に持ち帰って還元したいと思う先進事例や取組が多々あり、自分の知識が毎日増えていくことを実感できる濃密な日々を過ごすことができました。